

特集

外国人妊産婦の ケア転換期

在住者・旅行者を受け入れるための
“乗り越え課題”とは

日本への旅行者や日本に在住する外国人の増加、また、政府による外国人患者の受け入れ推進により、2015～2016年頃を境に、対外国人医療の現場が大きく変化しました。旅行中に具合の悪くなる妊婦や、旅行中の出産も増えました。言葉・文化・制度の違いなどによる誤解も生じ、訴訟問題になるケースもあり、日本の医療現場が外国人妊産婦の受け入れに苦手意識を持つことも否めません。

しかし、増える外国人妊産婦を避けるのではなく、課題を克服し、工夫や努力を重ねている施設も増えてきています。特集ではそうした施設に、どのように対処しているかをご紹介します。旅行者への対応、在住者が日本で出産・子育てをする際のフォローアップ、支援や関わり、コミュニケーションの取り方などについて学びたいと思います。